

平成29年2月17日（金）

午後1時30分

議会棟5階 第2委員会室

教育委員会定例会

議 案 書

傍 聴 人
閱 覧 用

退席時はお返却願います。

寝屋川市教育委員会

報告事項

報告第 2 号 職員の分限処分について

報告第 3 号 寝屋川市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則について

報告第 4 号 平成 28 年度寝屋川市教育実践の研究文の被表彰者及び被褒賞者の決定について

議決事項

議案第 3 号 平成29年度寝屋川市立小・中学校管理職人事について

署名委員

村田委員長

玉井委員

1月・2月教育委員会一般事務報告

(1月17日～2月17日)

月	日	曜	行 事 名	内 容	場 所
1	18	水	中学校英語村	英語村事業の実施	西南コミュニティセンター 教育研修センター
	20	金	教育委員学校訪問		第三中学校 田井小学校
	23	月	教頭会	教育委員会各課から連絡	教育研修センター
	24	火	北河内地区教育委員会委員研修会	研修会	大東市立歴史とスポーツふれあいセンター
	25	水	中学校英語村	英語村事業の実施	教育研修センター
			第2回文化財保護審議会	審議会	高宮廃寺跡
	29	日	「第63回文化財防火デー」 消防訓練	消防訓練、文化財説明会	大利神社
	30	月	北河内地区教育長協議会		守口市役所
2	1	水	校長役員会	2月校長会案件について協議	教育研修センター
			中学校英語村	英語村事業の実施	東コミュニティセンター 教育研修センター
	3	金	全員協議会	1. 寝屋川市小中一貫校設置実施計画（素案）について 2. 寝屋川市公共施設等総合管理計画（素案）について	議会棟第1委員会室
	5	日	第66回北河内地区駅伝競走大会	大会	淀川河川公園枚方地区
	6	月	校長会	教育委員会各課から連絡	教育研修センター
	8	水	中学校英語村	英語村事業の実施	教育研修センター
	9	木	北河内地区教育長協議会		守口市役所
	10	金	教育委員学校園訪問		南幼稚園 第四中学校
			教育委員懇話会		教育長室
	11	土	ねやがわ子どもフォーラム2017	講演会	中央公民館 講堂 その他
	12	日	第66回大阪府市町村対抗駅伝競走大会	大会	大阪府営服部緑地（豊中市）
	15	水	教育実践の研究文褒賞式	褒賞式、発表	中央公民館 講堂
			中学校英語村	英語村事業の実施	東北コミュニティセンター 教育研修センター
	17	金	教育委員会2月定例会		議会棟第2委員会室
			教頭会	教育委員会各課から連絡	教育研修センター

2月・3月教育委員会行事計画書

(2月18日～3月31日)

月	日	曜	行 事 名	内 容	場 所
2	18	土	国史跡高宮廃寺跡発掘調査現地説明会	発掘調査地の一般公開、説明	高宮廃寺跡
			第41回寝屋川市PTA大会	講演会、音楽祭、広報コンクール	アルカスホール
	22	水	中学校英語村	英語村事業の実施	西北コミュニティセンター 教育研修センター
	24	金	校長役員会	3月校長会案件について協議	教育研修センター
	26	日	寝屋川ハーフマラソン2017	大会	寝屋川公園 その他
	27	月	3月市議会定例会（第1日）	委員会付託（現年度議案）	市議会議場
	28	火	文教常任委員会	付託事件審査（現年度議案）	議会棟第2委員会室
3	1	水	3月市議会定例会（第2日）	市政運営方針（演説）、委員会付託（新年度議案）、委員長報告（現年度議案）	市議会議場
			中学校英語村	英語村事業の実施	南コミュニティセンター 教育研修センター
			ミュージカル「寝屋のはちかづき」	1日～3日小学4年生対象、4日一般公演	アルカスホール
	2	木	校長会	教育委員会各課から連絡	教育研修センター
	7	火	3月市議会定例会（第3日）	代表質問	市議会議場
			教頭会	教育委員会各課から連絡	教育研修センター
	8	水	3月市議会定例会（第4日）	代表質問	市議会議場
			中学校英語村	英語村事業の実施	教育研修センター
	9	木	文教常任委員会	付託事件審査（新年度議案）	議会棟第2委員会室
	10	金	中学校卒業証書授与式	卒業証書授与式	市内各中学校
	13	月	文教常任委員会	付託事件審査（新年度議案）	議会棟第2委員会室
	15	水	中学校英語村	英語村事業の実施	西南コミュニティセンター 教育研修センター
	16	木	小学校卒業証書授与式	卒業証書授与式	市内各小学校
	17	金	教育委員懇話会		教育長室
			幼稚園保育証書授与式	保育証書授与式	市内各幼稚園

月	日	曜	行 事 名	内 容	場 所
3	18	土	市指定文化財特別公開 (～21日)	木造聖観音坐像の公開	法安寺(下神田町)
	19	日	第4回アルカスピアノコンク ールウィナーズコンサート	ピアノコンクール上位入賞者によ るコンサート	アルカスホール
	20	月	市民ウォーキング	ウォーキング	市役所～高槻城跡公園
	21	火	3月市議会定例会(第5日)	委員長報告(新年度議案)、追加 事件即決	市議会議場
	22	水	中学校英語村	英語村事業の実施	教育研修センター
			平成28年度第4回社会教育委員 会議	1. 各所管に係る平成29年度事業 計画について 2. その他	議会棟第1委員会室
	23	木	教育委員会3月定例会		上下水道局3階会議室
	27	月	中学校英語村	英語村事業の実施	教育研修センター
	28	火	中学校英語村	英語村事業の実施	教育研修センター

報告第 2 号

職員の分限処分について

寝屋川市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第 3 条の規定により、別紙のとおり臨時に代理したので、教育委員会に報告し承認を求める。

平成29年 2 月17日提出

寝屋川市教育委員会
教育長 高須 郁夫

辞 令

寝屋川市教育委員会職員



地方公務員法第 28 条第 2 項第 1 号の規定により
平成 29 年 3 月 31 日まで休職を命ずる

平成 29 年 1 月 29 日

寝屋川市教育委員会

報告第3号

寝屋川市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則について

寝屋川市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条の規定により、別紙のとおり臨時に代理したので、教育委員会に報告し承認を求める。

平成29年2月17日提出

寝屋川市教育委員会
教育長 高須 郁夫

平成 28 年寝屋川市教育委員会規則第11号

寝屋川市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則

寝屋川市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則（昭和 41 年寝屋川市教育委員会規則第 30 号）の一部を次のように改正する。

第 5 条中「第 16 条（介護休暇）」の次に「、第 16 条の 2（介護時間）」を加える。

附 則

この規則は、平成 29 年 1 月 1 日から施行する。

寝屋川市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則

改正案	現行
(週休日の振替等) 第5条 条例第4条(週休日の振替等)、第6条(時間外勤務)、 第7条(宿日直勤務)及び第10条(休日の代休日)の規定に より市町村教育委員会が行うことができるとされている事項 並びに条例第13条(年次休暇)、第14条(病気休暇)、第 15条(特別休暇)、第16条(介護休暇)、第16条の2(介 護時間)及び第17条(臨時的任用職員の休暇)の規定による 職員の休暇の処理については、校長がこれを行う。 附 則 この規則は、平成29年1月1日から施行する。	(週休日の振替等) 第5条 条例第4条(週休日の振替等)、第6条(時間外勤務)、 第7条(宿日直勤務)及び第10条(休日の代休日)の規定に より市町村教育委員会が行うことができるとされている事項 並びに条例第13条(年次休暇)、第14条(病気休暇)、第 15条(特別休暇)、第16条(介護休暇) 及び第17条(臨時的任用職員の休暇)の規定による 職員の休暇の処理については、校長がこれを行う。

報告第4号

平成28年度寝屋川市教育実践の研究文の被表彰者及び被褒賞者の決定
について

寝屋川市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条の規定
により、別紙のとおり臨時に代理したので、教育委員会に報告し承認を求める。

平成29年2月17日提出

寝屋川市教育委員会
教育長 高須 郁夫

平成28年度 寝屋川市教育実践の研究文 表彰者

	校 園 名	職 名	氏 名	題 目
最優秀賞	第六中	教諭	ふるかわ まき 古川 卓紀	ビブリオバトルから見る国語教育 ～話す・書く能力の関係性～
優秀賞	西小	教諭	おおつき のぶよし 大月 庸義	授業改革「どの児童も安心して夢中になって聴き合い、学び合う授業づくり」
	点野小	教諭	ふじつか ちひろ 藤塚 千尋	道徳の授業を通しての学級づくり
優良賞	堀溝小	教諭	おおにし けいこ 大西 圭子	支援を要する児童への書字技能を高める指導について ～筆圧と鉛筆の動きをコントロールする力に焦点を当てて～
	田井小	教諭	ひぐち げんしょう 樋口 元昭	児童会活動の取り組みから子どもの自主性をつくる ～あいさつ運動を中心として～
	田井小	養護教諭	のなか 文子 野中 文子	保健室からの発信 ～児童の自己肯定感・生きる力を高める～
	点野小	教諭	しまもと 政志 島本 政志	説明文「『鳥獣戯画』を読む」と鑑賞指導
	和光小	教諭	むらもと 晃 村瀬 晃	「今、求められる学習を志向した授業改善」
	楠根小	教諭	やすだ えり 安田 映里	楽しみながら丁寧に文字を書く子どもを育てるための教育実践
	神田幼	教諭	さかぐち ゆま 坂口 有希	A児とクラスの子どものかかわり ～みんなで見守り、みんなで楽しく育ちあう～

平成28年度寝屋川市教育実践の研究文褒章者名簿

No.	校園名	職名	氏名	題目
1	東小	校長	目崎 正俊	アクティブ・ラーニングに向けての構造的な板書(国語科)のあり方
		教諭	坂ノ上 慶子	
		教諭	西郷 明日香	
		教諭	樋口 依理子	
		教諭	田中 佑一	
		教諭	近藤 和暉	
		教諭	瀬野 萌	
		講師	山田 美保子	
2	東小	教諭	高橋 耕平	「授業づくりは学級づくり」を基盤とした授業展開 ～国語科の授業実践を通して～
3	東小	教諭	武田 由美子	自己肯定感、自尊感情を育むための第一歩 ～支援学級での取り組み～
4	東小	教諭	山口 佳那子	算数科における児童の学力向上をめざして ～アクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践を通して～
5	西小	教諭	大月 篤義	授業改革「どの児童も安心して夢中になって聴き合い、学び合う授業づくり」
6	西小	教諭	岡本 美樹	課題に向かって主体的に考え、学び合う子ども ～算数科「時ごとと時間」の授業実践を通して～
		教諭	野尻 侑希	
7	西小	教諭	原田 絵里奈	自己を高め、主体的に動き協力できる子どもの育成
8	西小	主事	川瀬 志歩	事務員として学校・子どもにどのように貢献するか PDCIサイクルに基づいて考える
9	南小	教諭	三宮 将男	『ケース会議、心理・発達検査のアセスメントに基づいた通級指導教室の指導と 支援について—ASD傾向の児童の事例を通して—』
10	南小	教諭	渡邊 麻友	「話す力・聞く力を育てる指導の工夫」
11	北小	教諭	上村 聖子	PISA調査で問われる「読解力」と音楽科における「読解力」との関連と その上に成り立つ協同学習について
12	北小	教諭	三宅 裕也	子ども同士の人間関係を強くするための取り組み ～集団作り、規範作り～
13	五小	教諭	島本 和代	困っている子トレーニング子どもの保護者支援 ～ペアレント・トレーニングの試み～
14	五小	教諭	前田 真理	初任者指導の実践から
15	五小	教諭	野 克将	本校における生徒指導・支援について
16	五小	教諭	田島 章史	支援教育の共通性と個別性 ～子どもとの関わりから～
17	五小	教諭	下蔵 奈津美	学級経営 ～互いを認め合う温かな居場所作り～
18	五小	教諭	山下 依里子	自己肯定感を高める学級経営 ～係活動や一日のめあての取組みを通して～
19	五小	教諭	坪倉 大悟	児童の成長を願って ～学力・体力・心力を通して～
20	五小	少人数教育 推進人材	まつい 尚子	「計算名人戦の取り組み3 その他の学力向上の取り組み」 ～平成27年度 3学期の取り組み・ 平成28年度小学4年生の算数学力向上のために～

21	成美小	養護教諭	小田 邦子	～保健委員会児童による劇～ 「健康太郎シリーズ」の取り組みから
22	成美小	教諭	田村 海優	「きく」力 ～日々の学習活動を通して～
23	成美小	教諭	藤原 志康	集団活動の参加を目指した取り組み ～リズム活動を通して～
24	成美小	教諭	笠原 冬星	「論理整理を意識した国語科の授業づくり」
25	明和小	教諭	坂本 玲未奈	自分の考えを表現できる児童の育成を目指して ～算数科・国語科の研究授業を通して～
26	池田小	教諭	藤田 紗季	集団を意識した教室掲示 ～集団に入ることのできないAさんへの取り組み～
27	池田小	教諭	清水 さやか	「毎日音読で国語力アップ」
28	池田小	教諭	土居 由里香	池田小学校 グッドスタートに向けて ～「エプロン先生」2年目の取り組み～
		教諭	渡辺 有紀	
		教諭	山本 紗規子	
29	中央小	教諭	森田 萌実	ふれて感じる体験を科学的な認識の芽生えにつなげるシングルエイジサイエンス の授業実践 ～気づきの質を高めて理科につなげる生活科授業の取り組み～
30	啓明小	教諭	松山 康成	アクティブラーニングを実現する授業計画と学級経営 小学5年生算数科授業を中心に
31	啓明小	教諭	松山 康成	小学校と中学校が連携して取り組む子どものもめごと解決 イギリス・バーミンガムの取り組みの視察から
32	啓明小	教諭	坂本 真祐	自尊感情を高める体育科授業の授業づくり 学び合いを通しての児童の変容
33	啓明小	教諭	神原 総太	行動分析学を基にした学級経営 —授業を円滑にするための取り組み—
34	三井小	首席	片岡 緑	言葉の大切さ、おもしろさを伝えるために 英語教育推進リーダー中央研修に参加して
35	三井小	教諭	泰地 真衣	生活科の授業実践 ～ゴムをつかってつくろう あそぼう くふうしよう～
36	三井小	教諭	上田 淳也	考えを豊かに表現し、科学的に追究できる子どもをめざして
37	三井小	教諭	上田 直樹	教員が児童と向き合うとき
38	木屋小	教諭	小中 秀秋	視写と暗唱の教育的実践効果についての一考察
39	木屋小	教諭	霧島 瑤子	温かく伝え合うことができる学級集団の育成 ～国語科を中心とした授業づくりを通して～
40	木屋小	講師	松森 靖行	主体的・対話的に深く学ぶ子を育てる一実践 ～社会科を中心とした授業を核とした学級経営を通して～
41	木田小	教諭	辻 裕麻	「できた」「わかった」が増える授業 ～問題解決学習、思考ツールを活用した授業を通して～
42	木田小	教諭	宮谷 和摩	安心して生活ができる学級作り ～Aさんとの関わりを通じて～
43	神田小	教諭	合田 翔一	群れを集団にする学級経営 ～目標達成法を通して～
44	神田小	教諭	薄衣 妙子	互いを認め合い、表現力を高める授業づくり ～国語科の授業をとおして～

45	堀溝小	教頭	はやかわ けんじ 早川 健治	関数的な考え方を育む算数学習についての一考察 ～4年「変わり方」「式の向こう側をのぞいてみよう」の実践より～
46	堀溝小	教諭	おおにし けいこ 大西 圭子	支援を要する児童への書字技能を高める指導について ～筆圧と鉛筆の動きをコントロールする力に焦点を当てて～
47	堀溝小	教諭	たけもと ちか 竹元 智香	これからの道徳教育に係る指導と評価について ～道徳教育推進教師としての3年間を振り返って～
48	田井小	教諭	かきおか あつし 笠岡 睦史	子どもが安心できる環境づくりをめざして ～つながり、認め合うために～
49	田井小	教諭	しまだ はるか 島田 陽香	学級の居場所創り ～ONE FOR ALL, ALL FOR ONE～
50	田井小	教諭	ひぐち げんしょう 樋口 元昭	児童会活動の取り組みから子どもの自主性をつくる ～あいさつ運動を中心として～
51	田井小	養護教諭	のなか ふみこ 野中 文子	保健室からの発信 ～児童の自己肯定感・生きる力を高める～
52	桜小	教諭	もり かつる 森 薫	支援学級での実践と研究
53	桜小	教諭	かわはら りゅうすけ 川原 龍輔	通級指導教室における「WAVES」を活用した視覚支援
54	桜小	教諭	まつい まち子 松井 真智子	安心安全なクラスづくりをめざして
55	点野小	教諭	しまもと まさし 島本 政志	説明文『鳥獣戯画』を読む」と鑑賞指導
56	点野小	教諭	ながた とおる 永田 徹	学級をつくるために ～二年目の取り組み～
57	点野小	教諭	ふじつか ちひろ 藤塚 千尋	道徳の授業を通しての学級づくり
58	点野小	教諭	てらだ しんぺい 寺田 新平	楽しいと思える学級を目ざして ～「My book」とともに～
59	点野小	教諭	まとう かい 佐藤 唯	はじめての学級経営 ～3つの「当たり前のことを当たり前」に～
60	和光小	教諭	むらせ こう 村瀬 晃	「今、求められる学習を志向した授業改善」
61	和光小	教諭	こせき まさと 小関 正人	子どもが楽しむ言語活動から学び合いを育む
62	和光小	教諭	とみい ゆうへい 富井 裕平	ハードル走の段階的な指導の実践
63	和光小	教諭	やまもと めい 山本 芽生	美術作品を用いた鑑賞教育について ～低学年 アートカードを用いた授業を通して～
64	和光小	教諭	ひら はん 比良 隼貴	理科授業を通じた 自分の思いや考えを言葉で表現できる力の育成
65	和光小	教諭	はらぐち ゆうこ 原口 優子	児童のICT活用力を育むために ～国際理解教育を通じて～
66	和光小	栄養教諭	とき けい子 等茜 恵子	栄養教諭として活躍するために習得した2つのスキル
67	国松緑丘小	教諭	さいとう ののた 齋藤 野乃花	「楽しい」を深い学びへ ～自然の面白さに気づく生活科の授業実践
68	楠根小	教諭	やすだ りり 安田 映里	楽しみながら丁寧に文字を書く子どもを育てるための教育実践
69	楠根小	養護教諭	ふじさわ まり 藤澤 真理	日々の保健指導を通して子どもたちの健やかな成長を願う
70	梅が丘小	教諭	ふじなみ ゆうこ 藤浪 悠子	国際理解教育への一歩 ～ネパールからのA君との関わりを通して～
71	宇谷小	教諭	いのうえ ひろみ 井上 純寿	クラスの課題をふまえた学級経営 ～この1年間の取り組み～
72	石津小	教諭	わたべ しゅうへい 渡邊 翔平	間違いを認め合えるクラス～算数科を通して 安心・安全なクラス作りをめざして～

73	明和小	主査	葉原 蔭二	東部地区事務職員部会の『おもてなし』について ～加配を受けての新たなチャレンジ～
	明和小	主事	藤山 和樹	
	梅が丘小	副主査	上田 大輔	
	第四中	副主査	澤田 崇司	
	東小	副主査	真鍋 美幸	
	楠根小	副主査	清川 句美子	
	木田小	副主査	松井 俊孝	
74	第一中	教諭	樫本 真悟	子どもが自ら考えて行動できる授業づくり
75	第二中	教諭	寺師 悠一	合理的配慮と基礎的環境整備に基づいたユニバーサルデザインの授業実践 ～『すべての子どもたち』のために授業をめざして～
76	第二中	教諭	杉本 優希	授業づくりでの実践について
77	第二中	教諭	日笠 美幸	生徒が英語の授業を楽しく受けることができる工夫 ～そして、生徒の「分かる・できる」を増やす授業～
78	第三中	教諭	橋本 彩翔	理科を「考える」授業の取り組み ～アクティブラーニングとICTを取り入れて～
79	第三中	教諭	大場 現生	自ら進んで学ぶ環境づくりを養う ～ICTの活用～
80	第三中	教諭	林 加奈子	国語の授業における、書く・話す指導 ～自分の考えを伝える～
81	第三中	副主査	森末 賢二	第二回 第三中学校・学納金請求白書 ～未納境界線0.6パーセントの向こう側～
82	第四中	教諭	笹山 恭平	中学一年生における英語教育とつまずき
83	第四中	教諭	天野 雄太	体育の授業における体力向上
84	第四中	教諭	笹村 莉沙	主体的に活動する生徒の育成
85	第五中	教諭	山本 浩己	学級活動を通してリーダーを育成するための研究
86	第五中	教諭	谷川 置人	「わかる」授業を目指して
87	第六中	教諭	上平 拓也	社会科の授業への取り組みの実践とまとめ ～社会科の授業で考えることの大切さ～
88	第六中	教諭	吉川 卓紀	ビブリオバトルから見る国語教育 ～話す・書く能力の関係性～
89	第七中	教諭	富田 貴之	将来を見すえた情報教育
90	第八中	教諭	広田 剛	道徳研究授業を通して ～思いやりにはレベルがある？～
		教諭	後藤 一基	
		教諭	佐々木 勇貴	
91	第八中	教諭	井上 慎太郎	教育指導実践記録
92	第八中	教諭	横川 玄	21世紀型の授業イノベーション
93	第八中	教諭	桑原 広成	授業改革 生徒が「考える」授業づくり ～生徒主体の授業実践を通して～

94	第九中	教諭	おがわ えりか	集中力、基礎体力の向上に向けて
95	第九中	教諭	よしだ ほうき	学級経営について ～大切にしていることとその実践～
96	第十中	教諭	かわはた ゆうや	生徒中心の授業づくり ～アクティブ・ラーニング、ICT機器の活用～
97	第十中	教諭	おおた あむ	学校図書館の分類と配架の実践 ～「読書センター」及び「学習・情報センターに向けて」～
98	第十中	養護教諭	ほそだ りえ	韓国を訪問して学んだこと
99	友呂岐中	教諭	あきづ 白帆	部活動と教科指導について
100	友呂岐中	教諭	うえまち あづみ	自己肯定感を高めながら確実に力をつける授業
101	友呂岐中	教諭	まつ村 志帆	調理実習シートの活用 ～シェフを中心とした班に焦点をあてて～
102	中木田中	教諭	やまぐち 卓人	個別に対応した授業の実践
103	北幼	教諭	つかもと さおり	幼小連携から学ぶ —話す力、聞く力—
104	南幼	園長	くじょう 桂子	「レッツ・トライ・チャレンジ」～幼児の体力向上～ ～ラグビーを通じた楽しい運動遊び～
		教諭	おくむら 睦美	
		教諭	さかい 智香	
		教諭	しまだ りえ	
105	中央幼	教諭	たかだ ゆき	幼児期における体力づくり ～子どもの体力向上を目指して～
106	神田幼	教諭	さぐち ゆき	A児とクラスの子どものかかわり ～みんなで見守り、みんなで楽しく育ちあう～

議案第 3 号

平成 29 年度寝屋川市立小・中学校管理職人事について

平成29年度寝屋川市立小・中学校管理職人事を行うため、教育委員会の議決を求める。

平成29年 2 月17日提出

寝屋川市教育委員会
教育長 高須 郁夫

提案理由

「寝屋川市立小・中学校教職員人事基本方針」に基づき、平成29年度寝屋川市立小・中学校管理職人事を行うため。